

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コマツ 湘南リバーサイド	階数	地上5F
建設地	神奈川県平塚市東八幡5丁目1980番4, 1980番6	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	190 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年4月16日
敷地面積	3,317 m ²	作成者	鹿島建設横浜支店
建築面積	1,458 m ²	確認日	2018年4月16日
延床面積	6,098 m ²	確認者	鹿島建設横浜支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>0 46 92 138 184 230 276 322 368 414 460 506 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.8</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>15mの高さ制限がある工業地域における企業の独身寮。建築、構造、設備を統合することで、低階高を実現。平塚市の緑化基準を満たす外構計画。バルコニーによる日射遮蔽や高効率の設備機器の採用により、建築物省エネ法に適合させる。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>日本住宅性能基準における等級4相当を確保。庇、カーテンを組み合わせることで、日光を制御。F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、換気量を十分に確保。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>内外装とも、防汚性の高い材料を採用し維持管理に配慮。耐用年数の長い配管・ダクトの材料を選定し、長寿命化を図る。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>ピロティや庇などを設けている。防犯カメラを各所にもうけ、防犯性に配慮。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>日本住宅性能基準における等級4相当を確保。省エネに役立つ照明・空調の消し忘れ防止システムを採用。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>リサイクル資材の採用。省水型機器の採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>十分な雨水流出抑制対策を行う。駐車場やバイク置場・駐輪場の適切な量を確保。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される